

滋賀県道路整備アクションプログラム  
地域別アクションプログラム（木之本地域）第4回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年12月21日（水） 14時30分～17時00分

場 所：木之本支所1階第一会議室

出席者：浅野 ひろ子委員（伊香交通安全協会女性部 部長）

今井 克美 委員（公益社団法人長浜観光協会 専務理事）

奥野 武志 委員（長浜消防署伊香分署 分署長）

鹿城 律人 委員（長浜市商工会 副会長）

栢割 敏夫 委員（公募委員）

谷口 昇 委員（木之本警察署交通課 課長）

轟 慎一 委員（座長）（滋賀県立大学 准教授）

永井 正彦 委員（長浜市北部振興局 次長）

欠席者：平林 孝康 委員（特別養護老人ホーム伊香の里 施設長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）第3回地域ワーキングの内容確認

- ・事務局より第3回地域ワーキングの内容確認について説明を行った。

（2）資料説明「第4回地域ワーキング」

- ・事務局より第4回地域ワーキングについて説明を行った。

（3）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等は以下のとおり。

### 【地域の声について】

- ・ 7 ページ、地域の声の 1 番の文章に「特別豪雪地域」とあるが、これまでよく使ってきた言葉である「特別豪雪地帯」から置き換わったのか。
- ・ 「特別豪雪地帯」に修正する。(事務局回答)
- ・ 9 ページ、地域の声の 3 番に「誰もが安全・安心に～」とあるが、文章では「歩道整備など小学生の通学路における安全対策」となっている。12 ページの拠点内道路空間整備事業では小中学校とあるので、合わせておいた方が良いのではないかと思う。
- ・ 6 ページの地域の声の前文にある「県際道路」は一般的な用語なのか。専門的知識がない人は、県境の方が分かりやすいと思う
- ・ 地域の声の前文の 2 段落目、「～更なる観光や交流人口の拡大や、若者の～」と「～や」が続いているので、「～更なる観光や交流人口の拡大、若者の～」としたら良いと思う。
- ・ 指摘の通り修正する。(事務局回答)

### 【客観的評価マニュアルによる事業の評価について】

#### ① 拠点間ネットワーク整備

- ・ 今回 8 路線載っているが、前回のアクションプログラム 2018 の路線で完了している事業以外で掲載されていない路線について、別の事業で対応しているといった話も聞いているが、その説明がこの場であった方が良かったと思う。また、すべてランク B になっているが、公表はしなくても良いが、せめて委員には、ランク付けの根拠的な資料を示してもらっても良かったと思う。
- ・ この場で各事業の点数を説明してもらえるのか。
- ・ このワーキングの目的は、県が地域の声のとりまとめる事と、地域の重点項目を選定するにあたって、地域の各分野の皆さんからの意見をいただくために色々なご意見をいただくもので、その後の各事業評価や掲載箇所は参考にお示ししておりまして、本日この場では時間も長くかかりますし説明する事は予定していませんでした。(事務局回答)
- ・ 私としては、それを聞いてこの場だけで留めておくのは重い。14 ページに掲載要件も載っているし、予算的な制約もあって掲載箇所が選定されている経過もあると思う。
- ・ (各委員それぞれの意見を踏まえ、) 各事業の点数は説明を求めず、今回対象外になった事業について事務局より説明をお願いします。
- ・ 丹生ダム沿いの県道については、アクションプログラムは改築系事業が対象となるが、現在修繕系事業で進めているため、掲載対象事業ではなくなった。また、これまで検討路線としている西浅井余呉線は、計画ルートが決まっていない事や地元協議が整っていないことなど、今回のアクションプログラム掲載の前提条件に合わないため、調査路線として整理した。敦賀柳ヶ瀬線の柳ヶ瀬トンネルについては、客観的評価マニュアルによる評価でランクⅢ、3 点未満となり、掲載を見送る箇所となったため対象外としている。(事務局回答)
- ・ 19 ページに掲載されている国道 365 号は、半分は福井県になるが、これは両県の合意がとれて掲載されているものと理解したので良いか。
- ・ 滋賀県と福井県で整備を進めて行くことを合意し、先日両県で国への要望活動を行ったと

ころです。(事務局回答)

- ・余呉湖周辺の道路は、確かに集落内道路なので狭いが、他に路線を作るのも不可能に近い地域だったので、具体的な解決策があって載せているのか教えてもらいたい。
- ・余呉湖線は西側が人家中で比較的狭い道路となっているので、また、地元自治会がどういった整備が望まれているのかも今後調査研究していきたいと思っている。(事務局回答)
- ・10 ページに丹生ダム中止に伴う道路整備とあるにも関わらず、掲載されていないのは計画を見た方がどうしてかと思うので、周知される方が良いと思う。
- ・来年3月の公表までの間に、どういう見せ方ができるか、事業の取り組みが後退することのないような見せ方ができないか検討を進めていく。(事務局回答)
- ・客観的評価を行って、判定としてBランクで横並びになっているが、その要因はどう見ればいいのか。評価の妥当性について補足をお願いしたい。
- ・拠点間として駅や市役所、支所などの公共施設が近くにあるかどうかということや、JRを跨ぐ高架事業などは重要な事業になるので加点対象となっているが、今回木之本地域はこうした加点対象に該当する事業が少ないため、ランクAがなくランクBという結果となった。(事務局回答)
- ・これからこの評価を活用していくに際しての分析の仕方は今後も引き続き検討していくべきだと思う。仕組み自体のさらなる検討や見直しも進めてもらえたらと思う。

## ② 拠点内道路空間整備

- ・木之本の歩道整備はすぐにできるものかは分からないが、できるだけ早急に整備をしていただけるとありがたい。
- ・歩道整備は現在設計までできているが、今後もスピード感を持って進めていきたいと思う。(事務局回答)
- ・5年間の計画になるが、子どもたちの通学路では道の補修をしていただきたい箇所は多々あるので、5年といわずに毎年見直しをしていただきたい。
- ・アクションプログラムは、歩道整備は1億円以上の事業が掲載対象となるが、それ未満の事業は適宜実施していきますし、局所的な修繕や改築はその都度できるところから進めていく。(事務局回答)

## 【その他】

- ・長浜北部横断幹線道路について、北部の横断幹線道路という視点で今後継続的に検討していくということで、パンフレットにぜひ掲載してもらいたい。
- ・北部横断幹線道路として期成同盟会などから要望をいただいている杉本余呉線、西浅井余呉線は県としても重要な道路と認識している。現時点ではルートや構造等を継続的に検討調・査案する箇所としてパンフレットに掲載予定である事しかお示しできないが、来年度以降、具体的な協議を長浜市や地元自治会などと進めていきたいと思っている。(事務局回答)
- ・通常時は特に問題ないが、特に災害時や原発事故が起こった際にどうするかという点では重要になってくると思うので、東西のアクセス道路を充実させるのは重要なことだと思う。

東西を結んだ後は、北陸道のスマートインターチェンジをどこかに作ることも要望されると良いと思う。また、観光シーズンになると他所から来る人も多いので、他所から来た人にも分かりやすい道を作っていただきたい。

- ・スマートインターチェンジの設置は一定の交通量が必要などの条件があったと思う。分かりやすい道については、大きな道路整備を進めながら、ソフト面整備として案内看板などの整備も工夫して取り組んでいきたいと思う。(事務局回答)
- ・災害時のことはどこまでどのような用意しておくべきか分からない部分もある。このような形で話し合うこと自体が良いことだと思うので、これからも横のつながりとして、5年に1回と言わず、道路に関してどういう意見があるか、小出しに話し合う場があればと思う。
- ・横の連携については必要なことなので、長浜市と一緒にどんなことができるのか考えていきたいと思う。(事務局回答)
- ・携帯電話も無線もつながらないところが管内にあることを分かった上で行動していただくことが大事だと思う。
- ・(各委員の発言内容は) 全部が大切なことなので、この後の進捗状況や検証について伝えてもらえる場があると良いと思う。会議では作って終わり、その後どうなったかが分からないことがほとんどなので、その後の報告をしてくれると地域の声も届けやすいと思う。
- ・自転車の関係で、9ページではビワイチや自転車という言葉が出てきているが、これに関する路線については何か位置付けとしてみられるのか。
- ・木之本地域では現時点で具体的な事業箇所はないため掲載はないが、書いてある通り、安全対策や通行者への啓発について進めていくということで、ビワイチの安全対策について記載している。(事務局回答)